

おかやま

花

アーバンホール
花紀行
vol.23
シリーズ特別企画
ガーデンカレッジ

保存版

紀

出かけて見る花もいいけれど、
自分の手で育てて、
家族で楽しむ花もまた楽しい。
アーバンホール・おかやま花紀行は、
ステイホームを豊かに過ごす
情報ペーパーです。

行

おうちリゾート・涼を楽しむ庭をどうぞ ボク達、日陰で元気に育ちます。

日本の文化の基本は、四季の過ごし方にありました。
今こそ、ちよつと、そんな先人の心を受け継いで、
「涼」をテーマに、この時期のガーデンを
考えてみるのはいかがでしょうか？
9月中頃～10月下旬までは暑い日が多く、
特に昼間暑くて夜涼しい、寒暖の差が激しくなっています。
その時期は昼間の「涼」を考え、
お庭の寒暖の差をなくしていきましよう。



サンサンと太陽が照りつける夏の日中、
日陰はオアシスでもありますね。
植物もそう。日陰の好きなオアシス派。
お庭の庭に加えてみませんか？



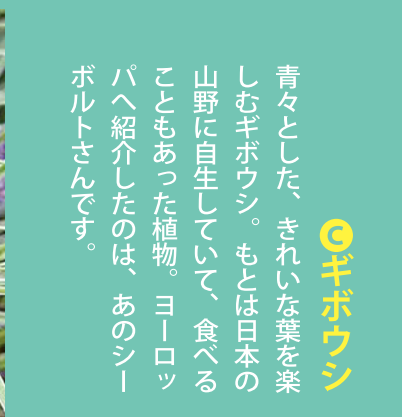
アスチルベ

ヨーロッパの風景の中でよく見えます。雨上がりに美しく輝く初夏の花です。半日陰や長雨でも元気に育ちます。寒さにも強く冬は地上部は枯れますが春になるとまた葉が出ます。



ヒューケラ

夏咲きの花ですが、葉は、冬も枯れずに楽しめる常緑の植物。その葉がさまざまな色があって素敵です。北アメリカ原産。そうそう、海外の絵本で見たような印象ですね。



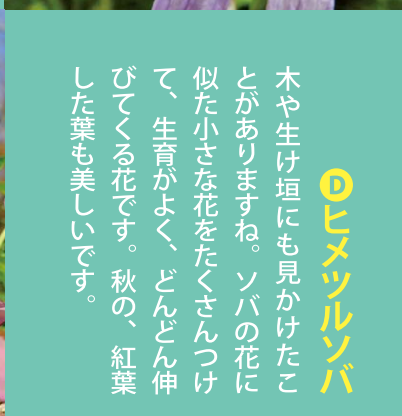
ギボウシ

青々とした、きれいな葉を楽しむギボウシ。もとは日本の山野に自生していて、食べることもあった植物。ヨーロッパへ紹介したのは、あのシーボルトさんです。



フィリヤブラン

夏に楽しむ、涼しげな細い緑の葉。庭を豊かにしてくれます。斑が入っているので、フィリヤブランです。斑の無いものはヤブラン。春先に株の中央から新芽が出てきます。



ヒメツルソバ

木や生け垣にも見かけたことがありますが、ソバの花に似た小さな花をたくさんつけて、生育がよく、どんどん伸びてくる花です。秋の、紅葉した葉も美しいです。



クリスマスローズ

クリスマススの頃から春のはじめと、花の少ない時期にいちばんに咲いてくれるので、今、人気の花です。華やかなバラの代役として。名前の由来も、そのことから。

涼感コラム①

苔と白砂、打ち水。

日本の庭園文化には「見立て」という楽しみ方があったようです。茶室のまわりには深山のようなたたずまい。せせらぎや溪流を表わす白砂に苔むす岩、夕暮れには実際に打ち水をしてみると涼しむとします。



涼感コラム②

泳ぐ魚、水辺を身近に。

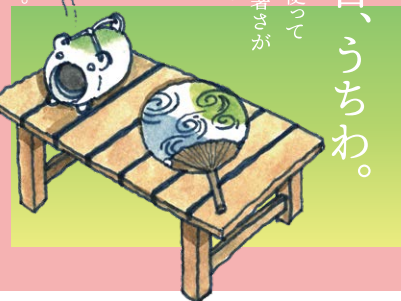
経典にある極楽の描写にも輝く池があります。人は水辺になごむようです。我が家の庭の水辺見立てとして、すいれん鉢を置いてみたらどうでしょう？
ホテイアオイのあいだを泳ぐメダカや金魚。
眺めているだけでも涼しくなります。



涼感コラム③

すだれ、縁台、うちわ。

建具や道具類をうまく使って涼を取り込むのは、夏の暑さがきびしい京都の智慧です。人間にも植物たちにも日陰をつくるすだれ。夕涼みの縁台とうちわ。蚊取り線香の香りも楽しんで。夏は庭もリビングルームの延長です。



倉敷、岡山、玉野に16ホール、裏面もご覧ください。

アーバンホール

葬儀・法要・ギフト